

■絵本

「 なつのもりの かぶとむし 」

- ・文: 谷本 雄治
- ・絵: サトウ マサノリ
- ・出版社: 文溪堂

夏の夕暮れ、森に人間たちがいなくなるころ、むしたちの時間がはじまります。かぶとむしは、夏の暑い昼間がとっても苦手。やっと日が暮れだした森の中、おなかぺこぺこだ〜と、かぶとむしたちが空に飛び出しました。大きなクヌギの木には、おいしい木のしるがいっぱい。そこに他の虫たちもやってきて、夏の森でむしたちのドラマが繰り広げられます。

かぶとむしの生活についておはなしと一緒に学べる楽しい一冊です。また、絵本右下に虫眼鏡マークがついたひとこと解説が載っているページがあるので、チェックするのも楽しいです。

(対象 幼児から)

■児童書

「 夏をあそぼう 」

- ・写真・文: 海野 和男
- ・出版社: 新日本出版社

夏の風景やアサガオの開花、夏によく見る昆虫たちを、たくさんの写真と共に紹介しています。例えば、アサガオの開花の様子。アサガオの花は、暗くなってから咲かせる準備を始めて、朝のまだ暗い時に満開になります。そして、お昼後には花を閉じていきます。

他にも、雨の日の昆虫たちの様子や、セミの抜け殻、カブトムシの一日、カメラを使った観察のコツなど。とても身近な風景の中でも、毎日・毎時間・毎秒で観察してみるとたくさんの発見があること教えてくれます。

(対象 小学 1 年生から)

■一般書

「 食材も手間も最小限レシピで今日も晩ごはん乗りきった。 」

- ・編: 「がんばらない」ごはん研究会
- ・出版社: 家の光協会

家で食事をする機会が多い時、毎日同じものや、レトルト食品では飽きてしまいますよね。でも時間や手間をかけずにすませたい時もあります。

この本は、家に常備している調味料や使いまわしのきく材料、そしてひとつの鍋やフライパンで、しかも短時間でできるレシピが紹介されています。

野菜を切るところから鍋の中の食材の配置、手順などが写真で紹介されているのでとても分かりやすいです。一人暮らしや自炊に慣れていない方、手抜きの方法を知りたい方、献立に迷ったときなどにおすすめの一冊です。

(対象 一般)